

鴻 koh

月刊俳句誌

令和4年3月1日発行  
(毎月1回1日発行)  
第17巻第3号 通巻189号

3 月号

2022



母をふと吉書の筆を下ろすとき

枯るるものなべて明るき禪の寺

一山に雲三山に雪の朝

紙懐炉貼つて寺領の甘酒屋

遊びをせむとや綿虫が肩の辺に

あふみ路の雪雪雪また雪が降る

# あふみ路

主宰作品

増成栗人

枯れきつていよいよ真白き鷺となる

田も畑も山も遊子も雪の中

二の丸の臘梅の香に包まるる

そぞろ歩いて浦里の磯千鳥

義仲忌の風が枯野の声となる

麦を踏む媼が一人影一つ

人を恋ふ声かもふくら雀かも

# 上弦の月

副主宰作品

谷口摩耶

遙かなる空より白鳥現るる

水の輪を纏うて鴨の集まり来

水仙のかすかな風を起こしけり

水仙の花影うつらうつらかな

山茶花の散る径を抜け裏門へ

日溜りに雪のスコップ立てかける

櫟ゆずりはやいつまで続く子のピアノ

マフラーをして上弦の月仰ぐ

静かなる樹下に潜める初鴉

臘梅の香に捕はれてしまひけり

一月三十一日、千葉県印西市笠神の「白鳥の郷」へ行ってきました。広い冬田のど真ん中で、車でないとなかなか行かれない所です。使っていない時期の冬田に水を張り、白鳥が飛来できるように、「白鳥の湖」を農家の人々が人工的に作り、朝夕、餌を撒きます。白鳥と鴨が争って餌を食べる様子が見られます。近くの本埜小学校も加わって、地域の人々が白鳥たちを見守っているのが伝わって来て、とても温かい気持ちになります。

# 俳 作品抄

## 同人選

ほろほろと茶の花の咲く石鼎忌  
雪ばんば磁石の針の定まりぬ  
浮寝鳥ひとりベンチ余りけり  
年の湯の手にころころと檜玉  
海荒るる氷下魚を炙る火を足して  
投票所の昭和の机小鳥来る  
晩年のひっそりと来て餅を焼く  
島二つ沖に爛酒熱うせよ  
顔見世の隣の席の京ことば  
風花の朝市となる能登輪島  
月冴ゆる珈琲館に人魚の絵  
佐藤あさ子  
神野未友紀  
山内宏子  
伊藤隆  
北村操  
井上つぐみ  
坂入喜代枝  
水谷はや子  
花本智美  
渡辺清  
鈴木崇

増成栗人 選

## 会員選

違ひ棚のこけし飴いる山眠る  
回数券二枚財布に年の暮  
菰巻の木に電飾の灯が入る  
冬菜畑日を拾ひゆく蝶一羽  
横尾かな  
守屋久江  
西條弘子  
田邑利宏  
明日入院少し長めの柚子湯かな  
からころとからころからと枯葉かな  
ひとときの嵐も去りし四日かな  
ありがとと十年の恋雪女  
無防備の夫の背中よ日向ぼこ  
原光生  
鈴木容子  
中内敏夫  
本田豊明  
高橋詩

谷口摩耶 選

## 三つの話

### 一、宇宙飛行士の話

宇宙飛行士が船外活動をする時は無重力の中での作業になる。ふわふわと漂うような感覚だが、この練習をするために地球上では水中での訓練をする。東京五輪のダイビング競技場のプールは二十五メートル、四方の深さ五メートルであるが、NASAのテキサス州では長さ六メートル、幅二十メートル、深さ十二メートルの巨大プールがあり、宇宙服を着たまま潜り、浮力と重さがうまく釣り合うと宇宙遊泳に似た状態になり練習できるらしい。水底には実物大の国際宇宙ステーションの模型が横たわっているというが、実際にこれを使つてどのようなことができるかは分からない。

### 二、地球温暖化の話

地球温暖化は人間の活動が引き起こしたかどうかが

を国連政府間パネル（IPCC）は「疑い余地はない」と断定し、三十年以上続く論争に決着をつけた。異常気象は世界各地で頻発している。今年八月以降、米西海岸とカナダ西部を熱波が襲い、ドイツや中国では洪水、トルコやギリシャでは山火事に見舞われた。

パリ協定では産業革命以降の気温の上昇を二度未満、できれば一・五度に留める目標を掲げている。しかし、既に一・一度上昇している。一・五度上昇すると、十年に一回の高温が四回起こり、世界の平均海面水位は五十五センチ上昇する。

最大排出国中国に加え、インドやロシアなどの主要国は足並を揃えず、厳しい目標となっているが、英国でのCOP26の成功に期待したい。

### 三、養生法の話

「コロナ禍への健康留意は「免疫力」を高めることと力説するのは作家の五木寛之氏である。免疫細胞は加齢とともに減っていき七十歳になると二十歳の十分の一まで低下してしまつたため、減少幅を小さくするには精神的ストレスを持たないことがよいとい

う。親やネが亡くなって悲しい経験がすすんでくると免疫力が下がる。食べ物なども決めつけたりせず、こだわらずに好き嫌いをく摂るのがいいらしい。

五木氏の生きざまに感心したところがある。私より年下になるが、今まで医者にかかったことがなかったという。しかし、二十代後半頃、肺気腫のようになつて息は吸えるが吐くことが困難になつたために、たばこを止め、白隠禪師の腹式呼吸で克服したという。ところが、その後死んだほつがいろいろと思つほげに偏頭痛になつて二日三晩のたうちまわつたあげく、発作のサイクルや兆候に気が付く対処したという。原因は高気圧が続いた後、低気圧に転じる境目に発作が出て来たことから、気圧の動きと自分の予兆が出たら、風呂に入らない、酒は飲まない、原稿の締め切りを延ばす。とにかく寝るなどの対処をして、五十歳過ぎたあたりからすつかり発作が無くなつたようだ。

賢い人は意思が強く考え方が違つて感心した。

氏の養生訓は「すべて他人の養生法である。それらを参考にして、自分だけの養生法を主として。明日、死ぬと分かつていてもするのが養生」である。

### ◎ひんがし

八本の足を巧みに操る蛸（たこ）は、無脊椎動物としては高い知能を持つているようだ。

情報を伝える神経細胞は五億個もあり、ほぼ犬と同じだといふ。正方形とひし形を見分け、瓶の蓋を開ける能力もあるといふ。

蛸をなぞつた諺がある。

「カレーシにいたるタ」のよろな気がカ

困つた状況で打ちのめされるこいつ意。

「薬出でゆてたタ」

手も足も出ないこいつ意。

### （鴻十二郎）特別作「昏」

#### 「冬銀河」森 睡也

「死んでみよつか、なんて夢にも思つてはいけませぬ」と睡也はどんは吐き。冬銀河は、永遠に生きていぬ。

霜柱踏む蒼白き記憶路む

凍蝶の飛び発つことをのみ想ひ

死んでみよつかこんなにも冬銀河

旅人になるマフラーを巻きにけり

晩年を坐り直してみて寒し



# 「愛宕山・石段とトンネルと」 鈴木 崇

東京で一番高い山はどこか。それは標高約26メートルの愛宕山である。超低山ながら、あくまで「山」と呼ばれる天然のものとして二三区内で最も高い。

JR新橋駅から歩くと、林立するビル群を抜けていくので、近づくまで山に向かっている気はしない。だが、愛宕神社の鳥居を前にすると、86段の男坂を見上げて、ああ、「山」だな、という気持ちになる。

86段を一気に上がる男坂は「出世の石段」として知られる。手すりもなく、古い急な階段なので、一歩一歩慎重に上がる。かつては山上から新橋方面のパノラマを得られる眺望の名所だった。

「出世の石段」の名は、馬術の名人・曲垣平九郎の逸話に由来する。

家光將軍に梅の枝を手折り献上するため馬に乗って石段を駆け上がった。講談「寛永三馬術」のうち「出世の春駒」のエピソードが有名だ。

「左に見ゆるは安房上総 前は渺々たる青海原 沖のあたりに真帆片帆 はてうら

らかな眺めじゃなア」

七合目恋の平九郎の台詞はなかなかの名調子。石段は「136段」「186段」と割り増して読まれていたりする。「講釈師見てきたような嘘つき」である。

愛宕山はNHKが最初にラジオ放送をした場所でもある、山頂に地上45メートルの電波塔を二基建て、ラジオの本放送を開始した。現在、NHK放送博物館がある。

みんなや日陰となりし愛宕下

藤田湘子

愛宕下の山腹を愛宕隧道が貫いている。一九三〇年竣工、都心最古の道路トンネルで、全長は76・6メートル。出入口部分は石積みで風格を感じさせる。

それにしても、神社のある山をトンネルでくり抜いてしまうとはすごい。愛宕山自体はご神体ではなく、あくまで山の上に神さまを祀っているだけ、という割り切り方。往時は愛宕山を越える山道を通らねばならず、地域住民はトンネルを大変喜んだそうだ。



愛宕山・出世の石段



## 集音

選 耶摩 口谷

風花や関東平野の高きから  
冬ざれや天地無用の荷の届く  
父母の家空き家となりて年暮る  
明日入院少し長めの柚子湯かな  
眼帯を外して冬の赤城山  
冬麗や将棋の駒のかるやかに  
からころとからころと枯葉かな  
盛り塩を盛つてさざんくわ白きこと  
まつ青な空引き寄せて冬薔薇  
のんびりと雲流れゆく小春かな

伊勢崎 原 光生

豊橋 鈴木容子

二礼二拍手山の端を染む寒茜  
除夜の鐘三つ数へて筆を擱く  
枯園を歩き続けて老ゆるまじ  
玄関に子の靴溢れ年迎ふ  
ひとときの嵐も去りし四日かな  
ありがとと十年の恋女  
雪塊のずり落つ音よ杉並木  
かにかくに住み難き世ぞ嫁が君  
初鏡顎をさすれば腑に落つる  
護符換へて二礼二拍手初神楽  
無防備の夫の背中よ日向ぼこ  
頬杖をつき一鉢の福寿草  
侘助や降り出しさうな空となる  
冬至粥さてもさてもと暮れかかる  
夕どきの雨しらじらと大根煮る  
七味屋の声に誘はれ西の市  
鱈酒やいつも無口な人と飲む  
雪吊の庭師の脚立古びけり  
やはらかな日差しの中を銀杏散る

流山 中内敏夫

稲城 本田豊明

柏 高橋 詩

松戸 綾戸五十枝

# 茶庵閑話

虫丸



歳時記に  
載っている  
行事や・  
動物や植物も  
ほとんど  
知らない  
わたしも  
含めて  
都会育ちコレカラ  
世代にとつて  
季語は  
どんな  
意味を  
持つでしょう



俳句は常に季語を通して  
自然の生命を  
見つめる  
そのことは  
自ずと  
生きて  
いることを  
大切に思う  
意識を育てる  
命さえ  
経済的価値  
で量られる  
現代だから



ひょっとしたら  
そのことの方が  
俳句の短さを  
支える文芸的  
意味以上に  
現代では  
大きな意義を  
もつかも  
知れないよ

ナルホド、  
命の肯定  
か？！



食を肯定していたら  
コレステロールが  
育ってしまいました!!